

哲学 1単位 (30H)

【実務経験のない教員】

哲 学	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	30	15	中井
学習目標 哲学の学習を通して、看護活動に必要とされる「人間」に対する深くて豊かな理解を目指すとともに、物事を筋道立てて考える能力、批判的・反省的思考力を身につけることを目指す				
学習内容				
1. 哲学とは何か 2. 哲学の学び方 3. 西洋哲学史 4. 日本の哲学 5. 哲学の未来		6. 論理学の基礎 7. 倫理学の基礎 8. 愛について 9. 他者について 10. 心と身体について		
始講時期 1年次		評価方法 中間試験、課題レポート		
テキスト及び参考書 なし				

論理学 1単位 (30H)

【実務経験のない教員】

論 理 学	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	30	15	遠藤
学習目標 論理学の学習を通して、小論文や報告書の作成のために必要なリテラシーを身につけること、および、看護活動に必要とされる「論理的思考」の涵養を目指す				
学習内容				
1. インTRODクシヨンと接続関係 2. 接続関係と文書作成の決まりごと 3. 接続の構造と起承転結 4. 議論の組み立てと小論文の書き方 5. 論証の構造 6. 論証の構造と起承転結 7. 起承転結を意識した小論文の書き方 8. 資料を踏まえた小論文の書き方		9. 演繹と推測との違い 10. 転を意識するための反論の仕方 11. 結に至るための導出の評価 12. 演繹の具体例…否定 13. 演繹の具体例…条件構造 14. 推論の技術 15. まとめ		
始講時期 1年次		評価方法 終講試験、課題レポート		
テキスト及び参考書 ナースのための文章表現法 (看護の科学社)				

統計学 1単位 (30H)

【実務経験のない教員】

統計学	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	30	15	全
学習目標 看護を科学的に追究する看護研究などに必要な統計学の基礎知識を学ぶ				
学習内容 1. 統計学の定義と必要性 2. 統計的研究のすすめ方 3. 統計資料について 4. 統計資料の整理・解析法				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 なし				

情報科学 1単位 (15H)

【実務経験のない教員】

情報科学	授業形式	時間数	回数	担当者
	演習	15	8	全
学習目標 情報を処理するためのコンピュータの基本的操作を身につける				
学習内容 1. パソコン操作の基本 1) ウィンドウズの基本操作 2) ワードを使いこなそう 3) エクセルを使いこなそう				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 なし				

教育学 1単位 (30H)

【実務経験のない教員】

教育学	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	30	15	石井
学習目標 教育が目的とする成長・発達と人間性の形成について理解を深めるとともに、看護活動に密接に関係する教育の意義の十分な認識を目指す。また、教育と看護の共通点についても注目していく				
学習内容				
1. 教育とは何か 1) 教育の語義と定義 2) 教育の本質 3) 教育と成長・発達、ならびに文化との関係 4) 教育と看護の関連について（看護理論の中の教育的特性）		2. 教育は何を目指すのか（教育の目的） 1) 人間とはどのような存在か 2) 人格と人間性の特徴 3) 人間性の形成		
始講時期 1年次		評価方法 中間レポート：30% 平常点：10% 期末・筆記試験：60%		
テキスト及び参考書 新しい教育の基礎理論（ミネルヴァ書房）				

倫理学 1単位 (20H)

【実務経験のない教員】

倫理学	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	20	10	石井
学習目標 人間の生き方、社会の在り方についての倫理的な基本概念を理解するとともに、医療の現場で実際に直面する生命倫理・看護倫理の諸問題について理解を深めることを目指す				
学習内容				
1. 倫理学の基本問題 1) 義務論と帰結主義 2) 対話のための理論 —ナラティブ倫理— 2. 生命倫理の諸問題 1) 生命倫理とは何か		2) パターナリズムからインフォームド コンセントへ 3) パーソン論 3. 看護倫理の諸問題 1) 看護の倫理原則 2) 看護実践上の倫理的概念		
始講時期 1年次		評価方法 中間レポート：30% 平常点：10% 期末・筆記試験：60%		
テキスト及び参考書 看護倫理（医学書院）				

社会学 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

社会学	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	30	15	新矢
学習目標 1. 現代の社会と看護のあり方を考える 2. 現代の家族に関するさまざまな問題を考える				
学習内容 1. 社会学とはどんなものか 2. 家族の歴史 3. 家族研究の枠組—機能と役割— 4. 配偶者選択と恋愛・性 5. ジェンダーとは何か 6. 夫婦関係とドメスティックバイオレンス 7. 離婚の現況と熟年離婚 8. 子どもの社会化と児童虐待 9. 家族と看護 1) 家族の機能 ①家族関係 ②疾病が患者家族に与える心理社会的影響 10. 高齢者と介護問題 11. 家族と現代社会 12. 集団の形成・発達 1) 集団の凝集性 2) 集団の意思決定 3) グループダイナミックス 13. 地域における人間関係 1) 親族、近隣、交際のネットワーク 2) 地域のソーシャルサポートネットワーク				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 なし				
教員の实務経験 大学での社会学の研究、フィールドワークの経験を活かし、現代社会の動向と家族、看護のありかたについて授業する				

英語 1 単位 (30H)

【実務経験のない教員】

英 語	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	ジャージノ=アディナ
学習目標 基礎的な英会話を習得し、臨床場面に活用できる英語の能力を身につける				
学習内容 1. 日常生活場面で使える表現 2. 英語のヒアリング 3. 日常看護場面でよく使われる表現				
始講時期 1年次		評価方法 口答試験		
テキスト及び参考書 PASSPORT 1 (OXFORD)				

人間関係論 1 単位 (30H)

【実務経験のある教員】

人間関係論	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	30	15	増子
学習目標 自分自身の性格、特にこれまで意識してこなかった自分の良い面や気をつけるべき点を確認し、より充実した人間関係を送れるようにすることと、特に病む人に接する心構えをつくることを目標とする				
学習内容 1. 心の理解 (心とは何か、パーソナリティ、ストレス等) 2. ライフサイクルにおける発達課題 3. 親子関係の心理 (養育態度による子供の性格形成の影響等) 4. アイデンティティの形成 5. 他者理解の方法 6. 対人関係の方法 7. 社会病理の中での人の心理 8. 精神力動の基礎概念 9. カウンセリング技法 10. 心理テスト体験 11. その他				
始講時期 1年次		評価方法 課題レポート		
テキスト及び参考書 人間関係がよくわかる心理学 (福村出版)				
教員の实務経験 臨床心理士としての経験を活かし、対人関係の方法、技法について授業を行う				

解剖生理学 1 1 単位 (20H)

【実務経験のある教員】

解剖生理学 1	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	20	10	高木
学習目標				
1. 人体とはどういうものか。人体の素材としての細胞・組織について学ぶ 2. 消化器系、呼吸器系、循環器系の解剖・生理について学び、正常な人体および疾患理解の基礎とする				
学習内容				
1. 序章～細胞 2. 組織～体液とホメオスタシス 3. 栄養の消化と吸収 (1) 4. 栄養の消化と吸収 (2) 5. 呼吸器の構造と機能 6. 心臓の構造と拍出機能 7. 末梢循環系の構造、リンパ管、血液の循環とその調節 8. 血液				
始講時期 1年次			評価方法 終講試験	
テキスト及び参考書 解剖生理学 (医学書院) 病気の地図帳 (講談社)				
教員の実務経験 臨床医としての経験と共に研究的な解剖学の視点を活かし、看護実践に活用できる授業を行う				

解剖生理学 2 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

解剖生理学 2	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	30	15	高木
学習目標				
腎・泌尿器系、内分泌系、骨・筋系、脳神経系、感覚器、生殖器系の解剖・生理について学び、正常な人体および疾患理解の基礎とする				
学習内容				
1. 腎臓の構造と機能 2. 体液の調節 3. 自律神経による調節、内分泌系 (1) 4. 内分泌系 (2) 5. 骨格・骨格筋の構造 6. 骨格筋の構造と機能 7. 神経系の構造と機能、脊髄と脳 8. 脊髄神経と脳神経、脳の高次機能 9. 運動機能と下行伝導路、感覚機能と上行伝導路、その他の伝導路 10. 眼の構造と視覚、耳の構造と聴覚・平衡覚 11. 味覚・嗅覚、疼痛、皮膚の構造 12. 生体の防御機構、体温、男性生殖器 13. 女性生殖器～成長と老化				
始講時期 1年次			評価方法 終講試験	
テキスト及び参考書 解剖生理学 (医学書院) 病気の地図帳 (講談社)				
教員の実務経験 臨床医としての経験と共に研究的な解剖学の視点を活かし、看護実践に活用できる授業を行う				

代謝栄養学 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

代謝栄養学 代謝学	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	高木
学習目標 生命維持に不可欠な栄養素の働きとその代謝過程を理解する				
学習内容 1. 代謝総論 2. 栄養素の構造と性質 1) 細胞 2) 糖類 3) 脂質 4) アミノ酸とタンパク質 5) 核酸とヌクレオチド 3. 酵素		4. さまざまな代謝 1) 糖質代謝 2) 脂質代謝 3) タンパク質とアミノ酸の代謝 4) 核酸・ヌクレオチドの代謝 5. エネルギー代謝の統合と制御 6. 遺伝情報		
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 臨床生化学（メディカ出版）				
教員の実務経験 臨床医としての経験を活かし、人間の生命維持に不可欠な栄養素の働きとその代謝過程を授業する				

【実務経験のある教員】

代謝栄養学 栄養学	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	達
学習目標 人間にとっての栄養の意義および健康障害時の食事療法の基本を学ぶ				
学習内容 1. 人間栄養学と看護 2. 栄養状態の評価と判定 3. 栄養素の種類とはたらき 4. エネルギー代謝 1) 食品エネルギー 2) 体内エネルギー 3) エネルギー代謝の測定 4) エネルギー消費 5. 栄養素の消化と吸収 1) 栄養素の消化・吸収 2) 栄養素の体内運搬		6. 栄養素の体内代謝 7. 栄養ケア・マネジメント 1) 栄養スクリーニング 2) 栄養アセスメント 3) モニタリング 4) リスク評価 8. 臨床栄養 1) 病院食の意義 2) 疾患別食事療法		
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 栄養学（医学書院） 新食品成分表FOODS 2020（東京法令出版）				
教員の実務経験 多様な臨床現場で栄養士としての実戦経験を活かし、人間にとっての栄養の意義および健康障害時の食事療法の基本について看護に生かせる授業を行う				

病態生理学 1単位（30H）

【実務経験のある教員】

病態生理学	授業形式	時間数	回数	担当者
-------	------	-----	----	-----

病理学	講義	15	8	高木
学習目標 健康から疾病に至る変化のプロセスを理解する				
学習内容 1. 病理学の領域 2. 細胞・組織とその障害 3. 再生と修復 4. 循環障害 5. 炎症 6. 免疫とアレルギー 7. 代謝異常 8. 老化と老年病 9. 新生児の病理 10. 先天異常 11. 腫瘍				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 カラーで学べる病理学（ヌーヴェル・ヒロカワ） 病気の地図帳（講談社）				
教員の実務経験 臨床医としての経験と研究的な視点を活かし、看護に活用できる健康から疾病に至る変化のプロセスを理解できる授業を行う				

【実務経験のある教員】

病態生理学 病態生理学	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	15	8	並川
学習目標 疾病がもたらす身体の内部的変化について、病態生理的に理解して、疾病の成り立ちや症状を学ぶ				
学習内容 1. 病態生理学を学ぶ意義 2. 心不全の病態生理				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 カラーで学べる病理学（ヌーヴェル・ヒロカワ） 解剖生理学（医学書院） 成人看護学[3]循環器（医学書院）				
教員の実務経験 特定機能病院での臨床経験を活かし、看護の視点で疾病がもたらす身体の内部的変化について、病態生理的に理解して、疾病の成り立ちや症状について授業する				

微生物・感染症 1単位（30H）

【実務経験のある教員】

微生物・感染症	授業形式	時間数	回数	担当者
---------	------	-----	----	-----

微生物・感染症	講義	15	8	高木
学習目標 微生物学の基本的知識と微生物等による感染症についての基礎知識を学習する				
学習内容				
1. 微生物・医動物とは 2. 感染症と臨床微生物 3. 呼吸器感染症 4. 消化器系感染症 5. 肝炎 6. 尿路感染症 7. 性感染症 8. 皮膚・粘膜の感染症、皮膚発疹とウイルス		9. 脳・神経系感染症 10. 人畜共通感染症、寄生虫感染症 11. 小児の感染症 12. 母子感染 13. 高齢者の感染症、日和見感染症など 14. 感染防御機構の基礎 15. 感染・発症予防（ワクチン・滅菌・消毒） 16. 検査と治療		
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 臨床微生物・医動物（メディカ出版）				
教員の実務経験 臨床医としての経験を活かし、微生物学の基本的知識と微生物等による感染症について授業する				

【実務経験のある教員】

微生物・感染症 免疫・血液疾患	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	高木

学習目標	
1. 免疫機能の障害とその治療について理解する 2. 造血機能の障害とその治療について理解する	
学習内容	
1. 免疫機能の障害 主な疾患：アレルギー疾患Ⅰ、アレルギー疾患Ⅱ、自己免疫疾患Ⅰ 1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療 2. 造血機能の障害 主な疾患：貧血、白血病、悪性リンパ腫、出血性素因 1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療	
始講時期	評価方法
1年次	終講試験
テキスト及び参考書	
成人看護学〔4〕血液・造血器（医学書院） 成人看護学〔11〕アレルギー 膠原病 感染症（医学書院）	
教員の実務経験	
臨床医としての経験を活かし、免疫機能・造血機能の障害とその治療について授業する	

疾病と治療 1 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

疾病と治療 1	授業形式	時間数	回数	担当者
---------	------	-----	----	-----

呼吸器疾患	講義	10	5	高木
学習目標 呼吸機能の障害とその治療について理解する				
学習内容 1. 呼吸機能の障害 主な疾患：肺炎、肺気腫、肺がん、気管支喘息、気胸 1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学〔2〕呼吸器（医学書院）				
教員の実務経験 臨床医としての経験を活かし、呼吸機能の障害とその治療について授業する				

【実務経験のある教員】

疾病と治療 1 循環器疾患	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	10	5	小林
学習目標 循環機能の障害とその治療について理解する				
学習内容 1. 循環機能の障害 主な疾患：高血圧、狭心症、心筋梗塞、心不全、心臓弁膜症、動脈閉塞症、大動脈瘤 1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学〔3〕循環器（医学書院）				
教員の实務経験 臨床医としての経験を活かし、循環機能の障害とその治療について授業する				

【実務経験のある教員】

疾病と治療 1	授業形式	時間数	回数	担当者
---------	------	-----	----	-----

消化器疾患	講義	10	5	清田
学習目標 栄養摂取・代謝機能の障害とその治療について理解する				
学習内容				
1. 消化管の機能障害 主な疾患：食道がん、胃がん、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病、直腸がん、イレウス、大腸がん、ヘルニア 1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療		2. 肝臓・胆嚢・すい臓の機能障害 主な疾患：肝炎、肝硬変、肝がん、膵炎、胆石症 1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療		
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学〔5〕消化器（医学書院）				
教員の実務経験 臨床医としての経験を活かし、栄養摂取・代謝機能の障害とその治療について授業する				

疾病と治療 2 代謝・内分泌疾患	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	高木
学習目標 1. 内分泌機能の障害とその治療について理解する 2. 各種代謝機能の障害とその治療について理解する				
学習内容 1. 内分泌機能の障害 1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療 2. 各種代謝機能の障害 1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学〔6〕 内分泌・代謝 (医学書院)				
教員の実務経験 臨床医としての経験を活かし、内分泌、各種代謝機能の障害とその治療について授業する				

【実務経験のある教員】

疾病と治療 2 感覚器疾患	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	安藤・上月 岩谷・高木
学習目標 感覚機能の障害とその治療について理解する				
学習内容 1. 感覚機能の障害と治療 1) 視覚機能障害 [安藤] 2) 聴覚機能障害 [上月] 3) 歯科・口腔器疾患 [岩谷] 2. 皮膚の障害と治療 [高木]				
始講時期 1年次		評価方法 なし		
テキスト及び参考書 成人看護学〔12〕 皮膚 (医学書院) 成人看護学〔13〕 眼 (医学書院) 成人看護学〔14〕 耳鼻咽喉 (医学書院) 成人看護学〔15〕 歯・口腔 (医学書院)				
教員の实務経験 臨床医としての経験を活かし、感覚機能、皮膚の機能の障害とその治療について授業する				

疾病と治療 3 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

疾病と治療 3 脳神経疾患	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	10	5	村松
学習目標 中枢神経機能の障害とその治療について理解する				
学習内容 1. 脳機能の障害 主な疾患：脳梗塞、クモ膜下出血		1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療		
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学〔7〕脳・神経（医学書院）				
教員の実務経験 脳神経外科での臨床経験と認定看護師としての経験を活かし、中枢神経機能の障害とその治療について授業する				

【実務経験のある教員】

疾病と治療 3 運動器疾患	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	10	5	石川
学習目標 運動機能の障害とその治療について理解する				
学習内容 1. 運動機能の障害 主な疾患：骨折、変形性関節症		1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療		
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学〔10〕運動器（医学書院）				
教員の実務経験 総合病院での整形外科病棟の経験を活かし、看護の視点に立った運動機能の障害とその治療について授業する				

【実務経験のある教員】

疾病と治療 3 腎・泌尿器疾患	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	10	5	山田
学習目標 排泄機能の障害とその治療について理解する				
学習内容 1. 排泄機能の障害 主な疾患：腎・尿路の炎症、尿路の通過障害、腎・尿路の腫瘍		1) 各疾患の病態生理と症状 2) 診断のための主な検査 3) 主な治療 2. 男性生殖器の疾病と治療		
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学〔8〕腎・泌尿器（医学書院）				
教員の実務経験 臨床医としての経験を活かし、排泄機能の障害とその治療について授業する				

治療論 麻酔と外科的治療	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	木村
学習目標 疾病の回復を促進する手術療法の原理を理解する				
学習内容 1. 麻酔 1) 麻酔法 2) 全身麻酔と生体反応 3) 手術侵襲に対する生体反応のメカニズム 4) 手術侵襲に対する生体反応の経過 5) 手術侵襲に対する生体反応の管理 2. 手術療法 1) 食道癌 2) 胃癌 3) 大腸癌				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 臨床外科看護総論 (医学書院) 成人看護学〔5〕 消化器(医学書院)				
教員の実務経験 臨床医としての経験を活かし、疾病の回復を促進する手術療法について授業する				

【実務経験のある教員】

治療論 リハビリテーション	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	15	8	神田
学習目標 リハビリテーションの概念とリハビリテーション技術を学ぶ				
学習内容 1. リハビリテーションの基本的考え方 1) リハビリテーションの理念 2) 対象とその理解 3) 目的 4) 種類と特徴 2. リハビリテーションにおける評価 3. 障害・状態別リハビリテーションの実際 1) 脳血管障害患者のリハビリテーション 2) 心疾患患者のリハビリテーション 3) 呼吸器疾患患者のリハビリテーション 4. 演習：体位変換、車椅子移乗				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 リハビリテーション看護 (メヂカルフレンド社)				
教員の实務経験 理学療法士としての臨床経験を活かし、リハビリテーションの概念とリハビリテーション技術を授業する				

薬理学 薬理学1	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	20	10	天正
学習目標 薬物の薬理作用および人体の影響と薬物の管理を学び、臨床で有害な作用を早期に発見し、対応できる力を身につける				
学習内容 1. 薬物治療を学ぶにあたり 1) 薬物治療の目指すもの 2) 薬の作用機序 3) 薬物中毒 4) 薬の管理 2. 主な治療薬の種類と特徴 1) 抗感染症薬 2) 抗がん剤 3) 免疫治療薬		4) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5) 末梢で神経活動に作用する薬物 6) 中枢神経系に作用する薬物 7) 心臓・血管系に作用する薬物 8) 呼吸器血管系に作用する薬物 9) 消化器系に作用する薬物 10) 生殖系に作用する薬物 11) 物質代謝に作用する薬物		
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 薬理学 (医学書院)				
教員の実務経験 薬剤師としての臨床経験を活かし、薬物の薬理作用および人体の影響と薬物の管理について授業する				

【実務経験のある教員】

薬理学 薬理学2	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	10	5	石川
学習目標 1. 薬物の体内での働き、作用を及ぼす影響を理解する 2. 臨床で多く用いられる薬物の適用を学習する 3. 臨床で用いられる代表的な薬の投与上の注意点を学習する 4. 妊婦・小児・高齢者における薬物治療の影響を学習する				
学習内容 1. 薬物の体内動態 2. 薬物の適用 3. 妊婦・小児・高齢者における薬物治療の影響				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 薬理学 (医学書院) 今日の治療薬2020 (南江堂)				
教員の実務経験 総合病院での臨床経験を活かし、看護の視点に立った薬物の体内動態について授業する				

総合医療論	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	高木
学習目標				
1. 保健・医療・福祉を総合的に理解し、人々の健康を保持・増進するための方法について学習する 2. 医学の歴史や現代医療について学び、医療の現状と課題を考える				
学習内容				
1. 看護の「心」とは 2. 日本の医療の現状と評価 3. 医療と看護の原点（生と死） <ol style="list-style-type: none"> 1) 安楽死・平穏死 2) 日本人の死生観 3) メメント・モリ 4) 世界の宗教 5) 日本の宗教 4. 医療の歩みと医療観の変遷 5. 現代社会と心の病				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 なし				
教員の実務経験 臨床医としての経験を活かし、医学の歴史や医療の現状と課題について授業する				

公衆衛生 1単位（15H）

【実務経験のある教員】

公衆衛生	授業形式	時間数	回数	担当者
------	------	-----	----	-----

	講義	15	8	菊川
学習目標				
人間の健康を保持増進するための社会や環境と健康のかかわりについて理解する。 公衆衛生の現状を知り、今日的保健対策の理解に努める。また、急速な少子高齢化社会に伴う医療、保健、福祉の問題、新興国の急速な発展に伴う環境問題（大気・水質・土壌汚染・温暖化問題と放射線の基礎知識）と健康への影響、地域保険など幅広く学ぶ。				
学習内容				
1. 公衆衛生学的序論 健康問題の変遷：公衆衛生と医療の歴史、健康測定と健康指標 人口統計；世界と日本の人口の歴史、人口の静態統計 人口の動態統計		4. 地域保健 地域保健活動、地域保健行政など 母子保健 母子保健統計、母子保健活動、母子保健の現状と動向など 学校保健 子どもの健康状態、ライフスタイルの現状、学校保健管理など		
2. 疫学；疫学の定義、疫学の方法、疫学の分類 疾病予防：健康管理 主な疾病；感染症、循環器疾患（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）、 メタボリック症候群など		5. 産業保健 働く人々の健康と職業病 職場の健康診断と健康増進		
3. 環境保健 人間の環境；地球の生態系（地圏・気圏・水圏・生物圏） 環境汚染から地球環境問題へ 廃棄物の問題、公害と環境問題		6. 高齢者保健・医療・介護 高齢者の生活と健康、高齢者の健康状態、高齢者保健福祉対策、介護保険、歯科保健、特定疾患 7. 精神保健 精神の健康とは、精神障害の現状と動向・現状と分類		
学生へのメッセージ（学習のポイント）				
わが国の保健統計を過去～現在と傾向を比較し、また主要先進国との国際比較もみること。ニュース、新聞、TVなどの報道も見聞すること				
始講時期		評価方法		
1年次		終講試験		
テキスト及び参考書				
シンプル衛生公衆衛生学（南江堂） 国民衛生の動向（厚生統計協会）				
教員の実務経験				
日本公衆衛生学会で保健活動の経験を活かし、人間の健康を保持増進するための社会や環境と健康のかかわりについて授業する				

社会福祉 1単位（30H）

【実務経験のある教員】

社会福祉	授業形式	時間数	回数	担当者
------	------	-----	----	-----

	講義・演習	30	15	川崎
学習目標 社会福祉の概念を学び、人が地域社会で生活するためのサポートシステムと活動の実際を学習する				
学習内容 1. 現代社会と社会福祉・社会保障 2. 暮らしと社会福祉・社会保障 1) 社会福祉の体系 ① 社会保険 ② 公的扶助 ③ 社会福祉 ④ 公衆衛生 3. 社会福祉の実践と社会資源の方法 4. 生活保護における生活保障 5. 社会福祉の推進と実施体制 6. 社会保険制度とその概要 1) 年金制度 ① 公的年金制度 ② 国民年金制度 ③ 厚生年金制度 ④ 企業年金制度 2) 医療保険制度 3) 介護保険制度 4) 雇用保険制度 7. ライフサイクルと社会福祉 8. 生活と福祉				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 社会福祉と社会保障（メディカ出版）				
教員の実務経験 精神保健福祉士としての経験を活かし、人が地域社会で生活するためのサポートシステムと活動の実際を授業する				

関係法規 1単位（15H）

【実務経験のない教員】

関係法規	授業形式	時間数	回数	担当者
------	------	-----	----	-----

	講義	15	8	仁科
学習目標 1. 看護師の職責を正しく遂行するために、関係法規の理解が必要であることを認識する 2. 看護にとって重要な衛生法規、福祉法規について学習する				
学習内容 1. 保健師助産師看護師法 2. 医療法 3. 健康保険・国民保険・厚生年金保険法・介護保険法 4. 社会福祉関連法規 1) 児童福祉法 2) 老人福祉法 3) 生活保護法 5. 薬事法 6. 労働関連法規 1) 労働基準法 2) 労働安全衛生法 3) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 4) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 7. 公衆衛生に関する法規 1) 地域保健法 2) 予防接種法 3) 感染症の予防および感染症の患者に関する法律				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 看護関係法令（医学書院）				

看護概論 1単位（30H）

【実務経験のある教員】

看護概論	授業形式	時間数	回数	担当者
------	------	-----	----	-----

	講義	30	15	石川・福田
学習目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象である人間の理解を深め、健康・環境について考える 2. 社会における看護の位置づけを明確にし、求められる役割を考える 3. 看護観の確立のための基礎として、先人の看護論を学ぶ 4. 看護実践者として必要な倫理的判断力を学ぶ 				
学習内容				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護への導入 <ol style="list-style-type: none"> 1) 専門職としての看護師 2) 実践科学としての看護 2. 看護の対象 <ol style="list-style-type: none"> 1) 統合体としての人間 2) 人間の成長、発達の特質 3. ナイチンゲール「看護覚え書」 4. 看護における倫理と価値 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護における倫理の必要性 2) 看護倫理とは 3) 道徳的ジレンマと倫理的課題 				
始講時期		評価方法		
1年次		終講試験		
テキスト及び参考書				
看護学概論（メディカ出版） 看護覚え書（現代社） よくわかる看護者の倫理綱領（照林社）				
教員の実務経験				
石川：総合病院における整形外科、内科等の病棟勤務にて幅広い臨床経験を活かし、看護学への導入、人間、環境、健康、看護の理解を広げる授業を行う 福田：総合病院における様々な病棟勤務にて幅広い臨床経験を活かし、看護の倫理を踏まえた看護の理解を広げる授業を行う				

基礎看護技術 1 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

基礎看護技術 1 技術概論	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	10	5	石川
学習目標 看護技術を看護実践の中で活用することの意味と看護実践の基盤となる考え方について学ぶ				
学習内容 1. 看護技術とはなにか 2. 看護技術の特徴 3. 生活を支える(整える)援助技術 4. 看護における安全性・安楽性・自立性 5. 看護技術を習得するために必要な考え方				
始講時期 1年次		評価方法 課題レポート		
テキスト及び参考書 基礎看護技術 I (医学書院) 基礎看護技術 II (医学書院) キラリ看護 (医学書院) 看護の基本となるもの (日本看護協会出版会)				
教員の実務経験 総合病院における整形外科、内科等の病棟勤務にて幅広い臨床経験を活かし、看護実践の基盤となる看護技術の特徴について授業を行う				

【実務経験のある教員】

基礎看護技術 1 コミュニケーション	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	20	10	安部
学習目標 1. 看護におけるコミュニケーションの意義と方法を理解する 2. 看護における人間関係成立のためのコミュニケーション技術を習得する				
学習内容 1. コミュニケーションの意義と目的 2. コミュニケーションの構成要素と成立過程 3. 効果的なコミュニケーションと状況に応じたコミュニケーションの方法 4. プロセスレコードとロールプレイング 5. グループワークの基礎知識 6. 接遇とホスピタリティ				
始講時期 1年次		評価方法 課題レポート		
テキスト及び参考書 基礎看護技術 I (医学書院)				
教員の実務経験 精神科を中心とした病院に勤務し、臨床経験を活かした精神看護学を担当するとともに、看護の基本となる人間関係を幅広く理解し、対象理解を深める授業を行う				

基礎看護技術 2 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

基礎看護技術 2 ヘルスアセスメント	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	10	5	並川
学習目標 系統的な観察、問診、視診、聴診、触診、打診により、対象の健康状態を身体的・精神的・社会的側面から把握し、評価する技術を習得する				
学習内容 1. 看護におけるヘルスアセスメント 2. フィジカルアセスメントに必要な技術 3. 系統別フィジカルアセスメント				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験（記述式・技術評価）		
テキスト及び参考書 基礎看護技術 I（医学書院）				
教員の实務経験 特定機能病院での臨床経験を活かし、ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントの技術を活用した対象理解を深める授業を行う				

【実務経験のある教員】

基礎看護技術 2 看護過程	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	20	10	安部
学習目標 1. 看護過程の概念と構成要素を理解する 2. 事例を用いて、看護上の問題を明確にし、問題を解決するための看護過程展開方法を習得する				
学習内容 1. 看護過程の概念 2. アセスメントの展開方法 3. 看護上の問題の明確化 4. 看護計画 5. 事例を通して、情報収集、分析・解釈、関連図、看護上の問題の明確化、看護目標、期待される結果、看護計画を立案する 6. 実施と記録 7. 評価の方法				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験・課題レポート		
テキスト及び参考書 基礎看護技術 I（医学書院）				
教員の实務経験 精神科を中心とした病院に勤務し、臨床経験を活かした看護過程の展開の概念と事例を用いた看護過程の展開方法について授業を行う				

基礎看護技術 3 1単位 (15H)

【実務経験のある教員】

基礎看護技術 3	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	石川
学習目標 日常生活行動を理解し、生活を支える援助の必要性と方法を学ぶ				
学習内容 1. 科学的根拠に基づく看護技術 1) 力学的根拠に基づいたボディメカニクス 2. 生活を支える援助技術 1) 療養環境を整えるアセスメントの視点と援助方法 2) 清潔のニーズのアセスメントの視点と援助方法 3) 食のニーズのアセスメントの視点と援助方法 4) 排泄のニーズのアセスメントの視点と援助方法 5) 睡眠のニーズのアセスメントの視点と援助方法				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 基礎看護技術Ⅱ (医学書院) 看護の基本となるもの (日本看護協会出版会)				
教員の実務経験 総合病院における整形外科、内科等の病棟勤務にて幅広い臨床経験を活かし、生活を支える看護技術のアセスメントの視点の授業を行う				

基礎看護技術 4 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

基礎看護技術 4	授業形式	時間数	回数	担当者
	演習	30	15	安部
学習目標 1. 既習の知識・技術を活用し、対象に必要な生活援助技術を計画できる 2. 対象の反応を見ながら安全に留意し、生活援助技術が実施できる 3. 対象の状況をふまえ、安楽さを追求する姿勢で取り組むことができる 4. 自分の看護実践を客観的に振り返り、課題を述べることができる				
学習内容 基本的ニーズの充足に向けた看護技術 1) 寝衣交換 2) 洗髪 3) 足浴 4) 全身清拭				
始講時期 1年次		評価方法 技術評価		
テキスト及び参考書 基礎看護技術Ⅱ (医学書院)				
教員の実務経験 精神科を中心とした病院に勤務し、臨床経験を活かした対象の理解と共に基本的ニーズの充足に向けた生活援助技術の授業を行う				

基礎看護技術 5 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

基礎看護技術 5	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	高垣 大谷
学習目標 1. 診察と検査、治療の意義・目的を理解し、診察・検査をうける患者への看護技術を習得する 2. 与薬の意義・目的を理解し、与薬をうける患者への看護技術を習得する				
学習内容 1. 診察介助時の看護師の役割 2. 検査における看護師の役割 3. 検体採取と取り扱い方法 4. 生体検査の援助 5. 呼吸・循環を整える援助 6. 薬物療法における看護師の役割 7. 薬物療法における安全管理 8. 基本的な与薬の援助方法 9. 経口およびその他の与薬の援助方法 10. 注射による与薬方法 11. 感染予防の原理・原則				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験・技術評価		
テキスト及び参考書 基礎看護技術Ⅱ (医学書院)				
教員の実務経験 高垣：訪問看護ステーションや総合病院等での臨床経験を活かし、診察・検査を受ける患者に対する安全、正確に実施するために必要な援助技術について授業を行う 大谷：精神科の病院に勤務し、臨床経験を活かした基礎看護技術と精神看護学を担当し、対象理解を深める授業を行う				

臨床看護総論 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

臨床看護総論	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	青木・並川
学習目標 1. 主要症状の定義とメカニズムを理解し、看護ケアとその根拠を学習する 2. 事例を用いて、疾患をもつ人が示す主要な症状を理解し、その状態に応じた援助の方法を学ぶとともに、治療・処置の意義、効果とその目的達成のために必要な援助を考える				
学習内容 1. 主要症状の理解 1) 腹水 2) 貧血 3) 黄疸 4) 浮腫 5) 倦怠感 2. 事例を用いて主要症状に伴う治療と看護 3. 事例を用いた技術演習（複合演習）				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験・技術評価		
テキスト及び参考書 看護課程に沿った対症看護（学研）				
教員の実務経験 青木：総合病院での勤務等、豊富な臨床経験を活かし、様々な症状のメカニズムを理解し、看護援助の意義を深める授業を行う 並川：特定機能病院での臨床経験を活かし、疾患をもつ人が示す症状の理解を深め、治療と看護について授業を行う				

基礎看護学実習 2単位 (90H)

【実務経験のある教員】

基礎看護学実習	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	90	12	専任教員
学習目標 病むことにより対象の身体や生活におこる変化を理解し、対象に必要とされる看護を実践する基礎的能力を養う。				
学習内容 1. 対象への看護を実践するにあたり、必要と思われる知識・技術を抽出し、主体的に学習する。 2. 対象との人間関係を発展させ、統合体としての対象を理解する。 3. 日常生活行動のニーズをとらえ、対象に必要とされる看護は何かを考える。 4. 対象の特徴・個別性に応じた看護を実践する。 5. 看護チームの一員として行動する力を養う。				
始講時期 1年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 基礎看護学 実習要項				
教員の実務経験 臨床経験豊富な教員により看護を実践する基礎的能力を養うための授業を行う				

成人看護学総論 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

成人看護学総論	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	青木 並川
学習目標 1. 成人期にある対象の特徴と生活を理解する 2. 成人保健の動向と対策を理解する 3. 健康レベルに応じた看護方法を学ぶ				
学習内容 1. 成人期にある人の理解 2. 成人期に見られる健康障害 3. 成人への看護に有用な概念 4. 成人の健康生活を促すための看護 (演習)				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学概論 (メディカ出版)				
教員の实務経験 青木 ：総合病院での勤務等、豊富な臨床経験を活かし、成人期にある対象の特徴と生活や成人保健の動向と対策について授業を行う 並川 ：特定機能病院での臨床経験を活かし、成人期にある疾患をもつ人が示す症状の理解を深め、健康レベルに応じた治療と看護について授業を行う				

成人看護学援助論 1 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

成人看護学援助論 1 クリティカルケアを必要とする患者の看護	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	20	10	並川
学習目標 クリティカルケア看護に必要な基本的知識を学ぶ				
学習内容 1. クリティカルケアを必要とする人の看護 1) クリティカルケアの概念 2) クリティカルな状態にある人の特徴と理解 3) クリティカルな状態にある人への看護援助 4) 侵襲的検査・処置を受ける患者の看護				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学[2] 呼吸器 (医学書院) 成人看護学[3] 循環器 (医学書院) 臨床外科看護総論 (医学書院)				
教員の实務経験 特定機能病院での臨床経験を活かし、クリティカルケア看護に必要な基本的知識を授業する				

【実務経験のある教員】

成人看護学援助論 1 がん患者の看護	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	10	5	松田
学習目標 がん患者と家族の抱える問題について理解し、患者のQOLを保つために行われる治療法と看護の役割を学ぶ				
学習内容 1. がん患者の看護 1) がん医療の現在 2) がん患者の特徴と看護の役割 3) がんの治療法と看護 ① 化学療法と看護 ② 放射線療法と看護 ③ 造血幹細胞移植と看護 ④緩和ケア				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 がん看護学 (医学書院)				
教員の实務経験 病院や訪問看護ステーションでの臨床経験を活かし、がん患者と家族の抱える問題、患者のQOLを保つために行われる治療法と看護の役割について授業する				

成人看護学援助論 2 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

成人看護学援助論 2 慢性疾患をもつ患者の看護	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	15	8	福田
学習目標 慢性疾患が身体的・精神的・社会的側面におよぼす影響を理解し、看護展開に必要な知識を学ぶ。				
学習内容 1. 糖尿病患者の特徴 2. 糖尿病の検査と治療 3. 食事療法について 4. 運動療法について 5. 薬物療法について 6. 合併症とその予防				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学〔6〕 内分泌・代謝 (医学書院) 糖尿病食事療法のための食品交換表 (日本糖尿病協会)				
教員の実務経験 総合病院での臨床経験を活かし、慢性疾患が身体的・精神的・社会的側面におよぼす影響と看護展開の視点を授業する				

【実務経験のある教員】

成人看護学援助論 2 リハビリ期にある患者の看護	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	15	8	村松 青木
学習目標 リハビリ期にある対象を身体的・精神的・社会的側面から理解し、生活再構築を支援する看護実践の基本を学ぶ				
学習内容 1. 脳血管疾患患者の特徴 2. 脳血管疾患患者の運動・認知機能障害とその評価 3. 脳血管疾患が患者・家族にもたらす影響 4. 人工肛門造設患者の看護 5. 腎不全患者の看護				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 成人看護学〔7〕 脳・神経 (医学書院) 成人看護学〔5〕 消化器 (医学書院) 成人看護学〔8〕 腎・泌尿器 (医学書院)				
教員の实務経験 村松：脳神経外科での臨床経験と認定看護師としての経験を活かし、中枢神経機能の障害を持つリハビリ期にある患者の理解と生活再構築を支援する看護実践の基本を学ぶ 青木：総合病院での経験を活かし、人工肛門造設患者、腎不全患者のリハビリ期にある患者の理解と生活再構築を支援する看護実践の基本を学ぶ				

老年看護学総論 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

老年看護学総論	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	福田 青木
学習目標 1. 老年期の特徴を学ぶ 2. 老年期の特徴を多様な側面から理解し、老年観をもつことができる 3. 加齢に伴う変化を生活機能の視点から理解し、老年期の生活を支える看護を学ぶ				
学習内容 1. 老年期の理解 2. 高齢者の健康 3. 老年看護の特徴 4. 高齢者の終末期の看護 5. 高齢者を介護する家族への看護 6. 高齢者体験演習				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 老年看護学 (医学書院)				
教員の実務経験 福田：総合病院での臨床経験を活かし、老年期の特徴を授業する 青木：総合病院での臨床経験を活かし、加齢に伴う変化と老年期の生活を支える看護について授業する				

老年看護学援助論 1 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

老年看護学援助論 1 高齢者の日常生活援助	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	20	10	青木
学習目標 高齢者の自立や社会生活の拡大を目指すための生活機能を整える看護を学ぶ				
学習内容 1. 高齢者の生活アセスメントと援助 1) 食生活の援助 2) 排泄行為の援助 3) 清潔・衣生活の援助 4) 歩行、移動動作の援助 5) 活動・休息調整の援助 6) 高齢者とコミュニケーション 2. 高齢者日常生活動作体験演習				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験・課題レポート		
テキスト及び参考書 老年看護学 (医学書院)				
教員の実務経験 総合病院での臨床経験を活かし、高齢者の自立や社会生活の拡大を目指すための生活機能を整える看護を授業する				

【実務経験のある教員】

老年看護学援助論 1 疾患をもつ高齢者への看護	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	10	5	高松 大谷
学習目標 高齢者に特徴的な疾患の病態生理を加齢現象との関係でとらえ、症状や診断・治療、看護ケアの要点を学ぶ				
学習内容 1. 疾患をもつ高齢者の看護 1) パーキンソン病・パーキンソン症候群の高齢者の看護 2) 認知症高齢者の看護				
始講時期 1年次 後期		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 老年看護学 (医学書院)				
教員の実務経験 高松：臨床経験とともに、認知症看護認定看護師の経験を活かし、認知症高齢者の看護を授業する 大谷：精神科での臨床経験や認知症ケア指導管理士としての経験を活かし、パーキンソン病・パーキンソン症候群の高齢者の看護を授業する				

老年看護学援助論 2 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

老年看護学援助論 2 老年期に発症しやすい 健康障害	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	出口
学習目標 老年期に発症しやすい認知機能の障害と看護を学ぶ				
学習内容 1. 認知機能の障害に対する看護ケア 1) うつ 2) せん妄 3) 認知症				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 老年看護学 (医学書院)				
教員の実務経験 認定内科医の臨床経験、精神科医の臨床経験を活かし、老年期に発症しやすい認知機能の障害と看護について授業する				

【実務経験のある教員】

老年看護学援助論 2 高齢者への支援	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	青木
学習目標 高齢者とその家族を支えるケアマネジメントの社会資源について理解する				
学習内容 1. 高齢社会における保険医療、福祉の動向 2. 高齢者の権利擁護 3. 高齢者を支える関わり 1) 加齢に伴う、心理・社会的変化とその影響 2) 高齢者の喪失体験と適応 3) 高齢者の生きがい				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 老年看護学 (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生統計協会)				
教員の实務経験 総合病院での臨床経験を活かし、高齢者とその家族を支えるケアマネジメントの社会資源について授業する				

小児看護学総論 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

小児看護学総論 小児看護学総論 1	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	20	10	谷口
学習目標 健康を障害された子どもと家族を理解し、疾患の症状・検査・治療・処置について学ぶ				
学習内容				
1. 先天的な問題をもつ子どもと家族 2. 新生児期の子どもと家族 3. 代謝性疾患をもつ子どもと家族 4. 内分泌疾患をもつ子どもと家族 5. 免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ疾患をもつ子どもと家族 6. 感染症をもつ子どもと家族 7. 呼吸器疾患をもつ子どもと家族		8. 循環器疾患をもつ子どもと家族 9. 消化器疾患をもつ子どもと家族 10. 血液疾患をもつ子どもと家族 11. 悪性新生物をもつ子どもと家族 12. 腎・泌尿器および生殖器疾患をもつ子どもと家族 13. 神経疾患をもつ子どもと家族 14. 運動器疾患をもつ子どもと家族		
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論（医学書院）				
教員の実務経験 小児科医としての臨床経験を活かし、健康を障害された子どもと家族、疾患の症状・検査・治療・処置について授業する				

【実務経験のある教員】

小児看護学総論 小児看護学総論 2	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	10	5	市山
学習目標 1. 小児期にある対象を理解する 2. 小児期の健康問題を理解する 3. 小児保健の動向と対策を理解する 4. 小児看護の役割と機能を理解する				
学習内容 1. 小児看護の対象 2. 小児と家族の諸統計 3. 小児看護の役割 4. 小児看護における倫理 5. 小児看護の課題 6. 小児の成長・発達 7. 小児をめぐる法律と健康増進のための政策と社会制度 8. 小児期におこりやすい健康問題と援助				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 小児看護学〔1〕小児看護学概論／小児臨床看護総論（医学書院）				
教員の实務経験 総合病院での内科、外科、小児科での経験を活かし、小児期にある対象の理解と看護を授業する				

小児看護学援助論 1 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

小児看護学援助論 1	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	30	15	市山
学習目標 1. 健康を障害された小児とその家族の特徴を理解する 2. 小児におこりやすい健康障害を理解し、小児および家族への看護の方法を学ぶ				
学習内容 1. 小児各期の成長・発達 2. 小児各期の栄養の特徴 3. 家族の特徴とアセスメント 4. 小児のアセスメント 5. 疾病・障害をもつ小児と家族の看護 6. 症状を示す小児の看護				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 小児看護学〔1〕小児看護学概論／小児臨床看護総論（医学書院） 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論（医学書院）				
教員の実務経験 総合病院での内科、外科、小児科での経験を活かし、健康を障害された小児とその家族の特徴と小児におこりやすい健康障害、小児および家族への看護の方法を授業する				

小児看護学援助論 2 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

小児看護学援助論 2 発達段階に応じた小児の 看護	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	市山
学習目標 さまざまな状況にある小児と家族を理解し、看護の方法を学ぶ				
学習内容 1. 外来受診や入院を必要とする小児と家族の看護 2. 小児における疾病と経過の看護 1) 慢性期にある小児と家族の看護 2) 急性期にある小児と家族の看護 3) 周手術期の小児と家族の看護 4) 終末期の小児と家族の看護 3. 健康障害をもつ小児の生活と看護 4. 障害のある小児と家族の看護				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 小児看護学〔1〕小児看護学概論／小児臨床看護総論（医学書院） 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論（医学書院）				
教員の实務経験 総合病院での内科、外科、小児科での経験を活かし、さまざまな状況にある小児と家族の理解と看護の方法を授業する				

【実務経験のある教員】

小児看護学援助論 2 検査・治療・処置をうける 小児の看護	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	15	8	並川
学習目標 小児看護に必要な基本的看護技術を習得する				
学習内容 1. 検査・処置をうける小児と家族の看護 2. 小児看護に必要な技術 1) コミュニケーション技術 2) 日常生活援助技術 3) 発達に応じた説明と同意 4) ヘルスアセスメント 5) 小児特有の検査・処置時の看護技術				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 小児看護学〔1〕小児看護学概論／小児臨床看護総論（医学書院） 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論（医学書院）				
教員の实務経験 特定機能病院での臨床経験を活かし、小児看護に必要な基本的看護技術を授業する				

母性看護学総論 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

母性看護学総論 母性看護学総論 1	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	10	5	西谷
学習目標 1. 女性生殖器疾患と治療・検査・処置について学ぶ				
学習内容 1. 女性生殖器の構造と機能 1) 女性生殖器の解剖生理 2. 女性生殖器疾患の症状と病態生理 1) 月経異常 2) 不妊症 3. 女性生殖器疾患の診察・検査 1) 病理検査 2) 内視鏡検査		4. 女性生殖器疾患の治療・処置		
始講時期 1年次		評価方法 なし		
テキスト及び参考書 成人看護学〔9〕女性生殖器（医学書院）				
教員の実務経験 産科医としての臨床経験を活かし、女性生殖器疾患と治療・検査・処置について授業する				

【実務経験のある教員】

母性看護学総論 母性看護学総論 2	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	20	10	青山
学習目標 1. 母性の概念、意義および母性の特徴について学び、母性看護の特性とあり方を考える 2. 母性看護の動向について理解する 3. 看護者として必要な性と生殖に関する知識をもとに、生きる力を育むために必要なことは何か考える				
学習内容 1. 母性とは 2. 母性看護の歴史の変遷と現状 3. セクシュアリティ 4. リプロダクティブヘルス／ライツ 5. ヘルスプロモーション 6. 母性看護を取り巻く環境 7. 母性看護における倫理 8. 母性看護の対象理解 9. 女性のライフステージ各期の健康問題と看護				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 母性看護学〔1〕母性看護学概論（医学書院） 母性看護学〔2〕母性看護学各論（医学書院） 国民衛生の動向（厚生統計協会）				
教員の実務経験 助産師としての臨床経験、母子保健活動を活かし、母性の特徴、母性看護学を取り巻く動向について授業する				

母性看護学援助論 1 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

母性看護学援助論 1	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	斎藤
学習目標 1. 子どもを生き育てるにあたり生じる問題を理解し、母性看護を实践するうえで必要な倫理について考える 2. 妊娠・分娩の生理的な経過を理解し、正常に経過させるための援助方法を学ぶ 3. 妊婦・産婦の看護に必要な特有の技術を学ぶ				
学習内容 1. 母性看護の対象の理解 1) 遺伝相談、不妊治療を受ける対象の看護 2. 妊娠期における看護 1) 妊娠経過の理解と身体の生理的变化 2) 胎児の発育と健康状態のアセスメント 3) 妊婦健康診査 4) 母性看護に関係する法律 5) 母子保健サービス 6) 妊娠中の生活とマイナートラブル 7) 妊娠期の生活を整える援助 8) 新しい家族を迎えるための役割獲得の準備 9) 出産・育児期の生活に向けた準備 10) 妊娠期に起こりやすい異常 11) ハイリスク妊婦の看護、胎児の異常 3. 分娩期における看護 1) 分娩の経過 2) 分娩進行に伴う産婦と胎児の変化 3) 分娩経過に伴う産婦と家族の心理的变化 4) 分娩期の看護の実際 分娩第1～4期の看護 5) 分娩期に起こりやすい異常と看護 6) 出生直後の新生児の生理的变化と看護				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 母性看護学〔1〕母性看護学概論(医学書院) 母性看護学〔2〕母性看護学各論(医学書院)				
教員の実務経験 助産師としての臨床経験、母子保健活動を活かし母性看護の特徴と妊娠期、分娩期における看護について授業する				

母性看護学援助論 2 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

母性看護学援助論 2	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	斎藤 石川
学習目標 1. 産褥の生理的な経過とその診断、検査を理解し正常に経過させるための援助方法を学ぶ 2. 新生児の生理的な経過とその診断、検査を理解し、正常に発育させるための援助方法を学ぶ 3. 褥婦と新生児の看護に必要な特有の技術を修得する 4. 異常な経過をたどる妊産褥婦の看護を学ぶ				
学習内容 1. 産褥期における看護 1) 産褥期の身体的変化とアセスメント 2) 褥婦と家族の心理的变化 3) 育児技術と役割獲得への援助 4) 褥婦の日常生活とセルフケアを高める援助 5) 褥婦の看護の演習 6) 産褥期に起こりやすい異常と看護 2. 新生児の看護 1) 新生児の生理とアセスメント 2) 出生直後の新生児の看護 3) 早期新生児期の日常生活援助 4) 生後一か月までの援助 5) 新生児の看護の演習 6) 新生児期に起こりやすい異常 3. 帝王切開を受ける産婦の看護 4. 育児支援 1) 家族関係再構築への看護 2) 子育て支援に関する法令 3) 地域子育て支援事業				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 母性看護学〔1〕母性看護学概論(医学書院) 母性看護学〔2〕母性看護学各論(医学書院)				
教員の実務経験 斎藤：助産師としての臨床経験、母子保健活動を活かし、産褥期における看護、新生児の看護、育児支援について授業する				

精神看護学総論 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

精神看護学総論 精神看護学総論 1	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	澤
学習目標				
1. 精神保健、医療の現状を理解し、今後のあり方を考える 2. 地域精神保健福祉活動について学ぶ				
学習内容				
1. 社会のなかの精神障害 1) 精神障害と治療の歴史 2) 日本における精神医学・精神医療の流れ 3) 精神障害と文化 4) 精神障害と社会学 5) 精神障害と法制度 2. 地域における精神保健と精神看護 1) 精神障害をもちながら地域で暮らす人を支援 2) 地域で生活するための原則 3) 生活を支えるための社会資源・サービス				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 精神看護の基礎 (医学書院) 精神看護の展開(医学書院)				
教員の实務経験 精神科医としての臨床経験を活かし、精神保健、医療の現状と今後のあり方を授業する				

【実務経験のある教員】

精神看護学総論 精神看護学総論 2	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	安部
学習目標				
1. 精神看護学の目的、対象、看護の機能と役割を理解する 2. 心の発達と心の健康を理解し、心の健康を保持・増進するための看護について学ぶ				
学習内容				
1. 精神看護学で学ぶこと 2. 精神保健の考え方 1) 精神の健康とは 2) ストレスと健康の危機 3) 心的外傷が精神の健康に及ぼす影響 3. 人間の心のはたらきとパーソナリティ 4. 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 精神看護の基礎 (医学書院) 精神看護の展開 (医学書院)				
教員の实務経験 精神科病院での臨床経験を活かし、精神看護学の目的、対象、看護の機能と役割について授業する				

精神看護学援助論 1 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

精神看護学援助論 1 精神障害の理解	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	15	8	澤
学習目標 精神に障害をもつ対象の精神症状や精神状態・検査・治療について学ぶ				
学習内容 1. 精神科で出会う人々 1) 精神を病むことと生きること 2) 精神症状論と状態像 3) 精神障害の診断と分類 2. 精神科での治療 1) 精神科における治療 2) 薬物療法・電気けいれん療法 3) 精神療法 4) 環境療法・社会療法				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 精神看護の基礎 (医学書院) 精神障害の展開 (医学書院)				
教員の実務経験 精神科医としての臨床経験を活かし、精神に障害をもつ対象の精神症状や精神状態・検査・治療について授業する				

【実務経験のある教員】

精神看護学援助論 1	授業形式	時間数	回数	担当者
精神の健康障害時の看護	講義	15	8	新海 大谷
学習目標 精神に障害をもつ対象の看護の基本を学ぶ				
学習内容 1. 精神障害者の理解と考え方 2. 精神障害者との関わり方 3. 患者—看護師関係の理解 4. 観察と記録 5. 病室環境の調整 6. 入院生活上の問題とそのケアの視点 7. 精神障害者の生活のしづらさの理解と考え方				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 精神看護の基礎 (医学書院) 精神看護の展開 (医学書院) 心病める人たち (岩波新書)				
教員の実務経験 新海 ：精神科病院での臨床経験を活かし、精神に障害をもつ対象の看護の基本を授業する 大谷 ：精神科病院での臨床経験を活かし、精神に障害をもつ対象の看護の基本を授業する				

精神看護学援助論 2 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

精神看護学援助論 2	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	安部
学習目標 精神に障害をもつ対象とその家族に対する看護の方法を学ぶ				
学習内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 統合失調症の患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 症状アセスメント 2) 精神状態・問題行動と援助方法 3) 急性期の看護 4) 慢性期の看護 5) 社会復帰期の看護 2. 躁うつ病の患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 症状アセスメント 2) 精神状態・問題行動と援助方法 3. アルコール依存・薬物依存の患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 症状アセスメント 2) 精神状態・問題行動と援助方法 4. 心身症、神経症の患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 症状アセスメント 2) 精神状態・問題行動と援助方法 5. 摂食障害の患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 症状アセスメント 2) 精神状態・問題行動と援助方法 6. 人格障害の患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 症状アセスメント 2) 精神状態・問題行動と援助方法 7. 発達障害の患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 症状アセスメント 2) 精神状態・問題行動と援助方法 8. 服薬指導の技術 9. 治療的かわりの技法 (コミュニケーション技術) 10. 身体拘束時の援助 11. 精神看護の現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> 1) 司法精神看護 2) 精神療法 3) 在宅看護 				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 精神看護の基礎 (医学書院) 精神看護の展開(医学書院) 心病める人たち (岩波新書)				
教員の実務経験 精神科病院での臨床経験を活かし、精神に障害をもつ対象とその家族に対する看護について授業する				

成人看護学実習 2単位 (90H)

【実務経験のある教員】

成人看護学実習	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	90	12	専任教員
学習目標 1. 成人期にある対象の健康レベルやライフサイクルの視点から健康上の課題を把握することができる 2. 対象および家族に、セルフケアができるように援助できる 3. 継続的な視点に立って生活を整えるための援助を考慮することができる				
学習内容 1. 対象と家族の特徴の理解 2. 対象に行われている検査・治療の把握と援助 3. 健康障害に応じた日常生活の援助 4. セルフケアの確立を目指した援助 5. 実施した援助の評価				
始講時期 2年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 成人看護学 実習要項				
教員の実務経験 豊富な臨床経験を活かし、成人期にある対象の健康レベルやライフサイクルの視点から健康上の課題について授業する				

老年看護学実習 2単位 (90H)

【実務経験のある教員】

老年看護学実習 老年看護学実習 I	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	30	4	専任教員
学習目標 1. 老人デイケアの役割・機能がわかる 2. 残存機能を生かした支援について考えることができる 3. 利用者および家族の思いについて考えることができる				
学習内容 1. 家庭での過ごし方、健康上の欲求、人生観や価値観、生きがいなどを知る 2. 家族との連携や家族の思いを知る 3. 残存機能を生かした援助について考える 4. 高齢者を支える老人デイケアセンターの役割				
始講時期 2年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 老年看護学 実習要項				
教員の実務経験 豊富な臨床経験を活かし、老年期にある対象の残存機能を活かした支援について授業する				

【実務経験のある教員】

老年看護学実習 老年看護学実習 II	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	60	8	専任教員
学習目標 高齢者の生活機能をアセスメントし、持てる力を最大限活用した援助を考えることができる				
学習内容 1. 日常生活行動の観察から対象理解を深める 2. 援助の方法を考える 1) 残存機能を生かした安全確保や保護を考慮した計画 2) 生命の質・生活の質・人生の質を高める計画 3) 自尊心を考慮した計画 3. 計画にそった安全・安楽な援助の実施 4. 実施したことの評価 5. 継続看護の必要性と社会資源の活用方法				
始講時期 2年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 老年看護学 実習要項				
教員の実務経験 豊富な臨床経験を活かし、老年期にある対象の生活機能のアセスメント、持てる力を最大限活用した援助について授業する				

小児看護学実習 2単位 (90H)

【実務経験のある教員】

小児看護学実習 保育所実習	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	30	4	専任教員
学習目標 1. 小児期にある対象の成長発達を理解する 2. 成長発達に応じた日常生活の援助がわかる				
学習内容 1. 小児と接する上での基本姿勢 2. かかわりを通して生活を知る 1) 基本的な生活習慣 2) 遊び 3) 安全な環境				
始講時期 2年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 小児看護学 実習要項				
教員の实務経験 豊富な臨床経験を活かし、小児期にある対象の成長発達に応じた日常生活の援助について授業する				

【実務経験のある教員】

小児看護学実習 小児科病棟実習	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	60	8	専任教員
学習目標 入院、健康障害、治療が小児とその家族に及ぼす影響を理解し、必要な援助がわかる				
学習内容 1. 入院治療が小児とその家族に及ぼす影響 2. 回復に向けての援助計画 3. 計画にそった安全・安楽な援助の実施 4. 実施したことの評価				
始講時期 2年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 小児看護学 実習要項				
教員の实務経験 豊富な臨床経験を活かし、小児の入院、健康障害、治療が小児とその家族に及ぼす影響と、必要な援助について授業する				

母性看護学実習 2単位 (90H)

【実務経験のある教員】

母性看護学実習 育児支援実習	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	30	4	専任教員
学習目標				
1. 新しい家族を迎える妊婦や家族の役割獲得の準備について理解する 2. 子育て期にある対象のニーズに対応した支援がわかる				
学習内容				
1. 出産・育児に向けた準備 2. 地域で生活する母子および家族の支援 3. 育児支援事業の実際				
始講時期 2年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 母性看護学 実習要項				
教員の实務経験 豊富な臨床経験を活かし、子育て期にある対象のニーズに対応した支援について授業する				

【実務経験のある教員】

母性看護学実習 産科病棟実習	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	90	8	専任教員
学習目標				
1. 妊娠・分娩・産褥各期にある対象および新生児の身体的、精神・社会的特徴が理解できる 2. 妊娠・分娩・産褥各期にある母子および新生児の健康増進に向けた日常生活援助の方法がわかる 3. 産褥期にある母子と家族の適応過程を知り、必要な保健指導や社会資源がわかる 4. 新しい生命の誕生に関わり、自己の生命観、親役割、次世代の育成について考える				
学習内容				
1. 妊娠期の健康状態 2. 分娩・産褥期の心理 3. 産後の生活に向けた援助計画 4. 安全・安楽な援助の実際				
始講時期 2年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 母性看護学 実習要項				
教員の实務経験 豊富な臨床経験を活かし、妊娠・分娩・産褥各期にある対象の特徴と看護、新生児の特徴と援助について授業する				

精神看護学実習 2単位 (90H)

【実務経験のある教員】

精神看護学実習	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	90	12	専任教員
学習目標 1. 精神の障害をもつ対象を理解する 2. 患者—看護師関係成立過程の看護師の役割および治療的かかわりの技法を理解し、展開する 3. 障害によって生じる生活のしづらさ、困難さを理解しかかわり方を考える 4. 自己の対人関係の特徴を知ることにより、自己理解を深める				
学習内容 1. 対象と相互作用をもつ意味を理解し、かかわりの技法を用いて関係展開を行う 2. 対象の理解 1) 精神症状、感情、意欲、不安、対人関係、日常生活などの観察 2) 生育歴との関連で理解 3) 状況に応じた段階的な目標 4) 目標に向けたかかわり方を考える 5) 対象の反応からかかわり方を評価 3. 精神の障害をもつ対象の治療環境・生活環境の理解 4. 社会復帰に必要な社会資源				
始講時期 2年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 精神看護学 実習要項				
教員の実務経験 豊富な臨床経験を活かし、精神の障害をもつ対象の理解と自己理解について授業する				

在宅看護論総論 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

在宅看護論総論	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	河井・高垣
学習目標 1. 地域で療養生活をおくる人とその家族を理解し、在宅看護の特徴を理解する 2. 地域で療養生活をおくる人とその家族の生活を支えるための社会資源の活用の実際と連携・協働の重要性を学ぶ 3. 訪問看護活動の概念・制度・看護者の役割を学ぶ				
学習内容 1. 在宅看護の目的と特徴 1) 在宅看護の目指すもの 2) 在宅看護における看護師の役割と機能 3) 地域包括ケア 4) 看護師の倫理 2. 在宅看護の対象者 1) 在宅看護の対象者の特徴 2) 住まい方と健康 3) 家族 3. 在宅療養の支援 4. 在宅看護にかかわる法令・制度とその活用 5. 療養上のリスクマネジメント 6. 在宅療養者の権利擁護 7. 在宅看護過程の展開のポイント				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験 レポート		
テキスト及び参考書 在宅看護論 (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生統計協会)				
教員の実務経験 河井 ：総合病院での臨床経験、ケアマネジャーとしての経験を活かし、地域で療養生活をおくる人とその家族の生活を支えるための社会資源の活用の実際と連携・協働について授業する 高垣 ：総合病院での臨床経験と訪問看護ステーションでの経験を活かし、地域で療養生活をおくる人とその家族の特徴と、在宅看護の特徴を授業する				

在宅看護論援助論 1 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

在宅看護論援助論 1 在宅療養者の看護	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	河井・高垣
学習目標 1. 療養者と家族との円滑な人間関係を図るコミュニケーションと、居宅訪問に必要な技術について学ぶ 2. 在宅看護における基礎的な技術について学ぶ 3. 在宅看護における日常生活の援助について学ぶ 4. 在宅看護における医療処置管理の支援・看護について学ぶ				
学習内容 1. 在宅で看護を展開するにあたっての留意点 2. 家庭訪問の意義と訪問時のマナー 3. 在宅における日常生活援助 1) 呼吸に関する在宅看護技術 2) 移動・移乗に関する在宅看護技術 3) 清潔に関する在宅看護技術 4. 医療処置管理の支援・看護 1) 在宅酸素療法 2) 在宅工呼吸療法 3) 経管栄養 4) 在宅中心静脈栄養法 5) 褥瘡の予防とケア				
始講時期 1年次		評価方法 終講試験 レポート		
テキスト及び参考書 在宅看護論 (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生統計協会) 基礎看護技術Ⅱ (医学書院) 老年看護学 (医学書院)				
教員の実務経験 河井 ：総合病院での臨床経験、ケアマネジャーとしての経験を活かし、在宅看護における日常生活の援助、医療処置管理の支援・看護について授業する 高垣 ：総合病院での臨床経験と訪問看護ステーションでの経験を活かし、療養者と家族との円滑な人間関係を図るコミュニケーションと、居宅訪問に必要な技術について授業する				

在宅看護論援助論 2 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

在宅看護論援助論 2 訪問看護の実際	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	10	5	藤井 中村
学習目標 在宅療養を支える訪問看護の実践を学ぶ				
学習内容 1. 看護師の姿勢 2. 訪問看護師の役割 3. 訪問看護の実際				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 在宅看護論 (医学書院)				
教員の実務経験 藤井：訪問看護ステーションでの臨床経験を活かし、在宅療養を支える訪問看護の実際を授業する 中村：訪問看護ステーションでの臨床経験を活かし、在宅療養を支える訪問看護の実際を授業する				

在宅看護論援助論 2 ケアマネジメントの実際	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義	20	10	河井 金子 高垣
学習目標 1. 在宅ケアシステムの中の在宅看護の役割を学ぶ 2. ケアチームの連携・協働を学ぶ 3. 地域におけるケアマネジメントを学ぶ				
学習内容 1. 地域における包括的支援事業 1) 住民参加による保健・医療・福祉の連携 2) 地域包括支援センターの仕組み・役割・機能 2. 地域ケアにおけるケアマネジメント 1) ケアマネジメントの実際 2) 連携・協働におけるケアマネジャーの役割 3. 継続看護 4. 実習の手引き				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 在宅看護論 (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生統計協会) 社会福祉と社会保障 (メディカ出版)				
教員の実務経験 河井：総合病院での臨床経験、ケアマネジャーとしての経験を活かし、ケアマネジメントの実際を授業する 金子：地域包括支援センターでの経験を活かし、地域における包括的支援事業の実際を授業する 高垣：総合病院での臨床経験と訪問看護ステーションでの経験を活かし、継続看護、実習への導入を授業する				

看護研究 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

看護研究	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習・看護 研究大会参加	30	15	宮田 石川
学習目標 1. 論文をクリティークすることで、科学的な論文の書き方の基礎を理解する 2. 研究のステップを踏み、実施した看護を科学的に分析し、論文形式にまとめることができる				
学習内容 1. 看護研究のプロセス 2. 論文クリティークの方法 3. 日々の問題意識に潜む概念の抽出 4. 先行研究の検索 5. 研究計画の書き方と実際 6. 看護研究と看護実践のリンケージ 7. 論文作成 8. 関西看護学生看護研究大会参加				
始講時期 2年次		評価方法 看護研究論文		
テキスト及び参考書 なし				
教員の実務経験 宮田：看護師、保健師、としての臨床経験と大学での研究を活かし、科学的な論文の書き方の基礎を授業する 石川：臨床での看護研究の経験を活かし、論文のまとめ方と発表について授業する				

看護管理 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

看護管理	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	眞鍋 緑川
学習目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の独自性や専門性を発揮し、合目的な行動がとれるために必要な看護管理について学ぶ 2. 看護管理部門の目的と基本的役割について理解する 3. 看護管理の今日的課題を理解する 4. 災害看護の基礎を理解する 5. 国際保健・看護について理解する 				
学習内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護とケアマネジメント 2. ケアのマネジメント 3. 看護サービスのマネジメント 4. 個人とマネジメント (人的資源管理) 5. 組織とマネジメント (集団力学的側面から) 6. チームビルディングの基本 7. チームビルディングのアクティビティ 8. リーダーシップ・メンバーシップとマネジメント 9. 病院の組織構造の特徴 10. 診療報酬に関して (保険診療のしくみ・入院基本料とは) 11. 災害医療と災害看護 12. 看護の国際協力の歴史と現状 				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 <ul style="list-style-type: none"> 看護学概論 (メディカ出版) 看護管理 (医学書院) よくわかる看護者の倫理綱領 (照林社) 				
教員の実務経験 <p>眞鍋：臨床経験とともに、看護部長としての経験を活かし、看護とマネジメントについて授業する</p> <p>緑川：総合病院、精神科病院での経験とDPATとしての経験を活かし、災害医療と災害看護と看護の国際協力の歴史と現状について授業する</p>				

医療安全 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

医療安全	授業形式	時間数	回数	担当者
	講義・演習	30	15	井上 牧坂 辻 石川
学習目標 1. ヒューマンエラーと人間の基本的特性との関係について理解する 2. 医療機関における安全対策について理解する 3. 看護における安全対策について理解する 4. 医療事故後の対応について理解する				
学習内容 1. ヒューマンエラー 2. 事故分析の方法 3. 事故対策について 4. 組織としての医療安全の取り組み 5. 看護業務と事故発生 6. 看護業務上の危険と事故防止の考え方 7. 診療の補助業務における事故防止 1) 注射 2) 輸液ポンプ・シリンジポンプ 3) 輸血 4) 内服与薬 5) 経管栄養 6) チューブ管理 8. 診療の補助業務演習				
始講時期 2年次		評価方法 終講試験		
テキスト及び参考書 なし				
教員の実務経験 井上：医療安全対策室での経験を活かし、医療機関、看護、組織における医療安全について授業する 牧坂：精神科病院での臨床経験を活かし、看護における安全対策について授業する 辻：放射線技師としての経験を活かし、医療機関における安全対策について授業する 石川：総合病院での臨床経験を活かし、診療の補助業務における事故防止の実践について授業する				

技術の統合 1単位 (30H)

【実務経験のある教員】

技術の統合	授業形式	時間数	回数	担当者
	演習	30	15	高垣
学習目標 1. 既習の知識・技術を統合し、対象に配慮しながら対象の状態に応じた確実な看護技術を習得する 2. 対象の状況を判断し、優先順位の決定や時間管理の技術を学ぶ				
学習内容 1. 複合的な日常援助、治療援助の必要な患者への看護技術の実施 2. 複数患者への対応 1) 優先度を考慮した行動 2) 時間管理				
始講時期 2年次		評価方法 技術確認試験・技術評価		
テキスト及び参考書 基礎看護技術Ⅱ (医学書院)				
教員の実務経験 総合病院での臨床経験と訪問看護ステーションでの経験を活かし、対象の状態に応じた確実な看護技術と複数患者への看護実践について授業する				

在宅看護論実習 2単位 (90H)

【実務経験のある教員】

在宅看護論実習	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	90	12	専任教員
学習目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域保健福祉総合サービスセンター各機関の働きと役割を理解する 2. 精神科デイケアセンターを通して地域医療について考える 3. 地域で生活を継続できるように支援するためのマネジメント機能や関連職種との連携を理解する 4. ケアチームの中で看護者の果たす役割を考える 5. 在宅療養を支える制度・社会資源、在宅ケアシステムの実際を学ぶ 6. 療養者および家族のニーズに応えた在宅看護の基礎を学ぶ 				
学習内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療福祉相談室の実習を通して生活を支えるための支援と関連職種・機関との連携、協働の重要性と看護者の役割 2. 地域包括支援センターの実習を通して地域における支援の実際と看護者の役割 3. ケアマネジメントの実際と連携・協働、在宅ケアにおける看護者の役割 4. 障害をもちながら地域で生活をおくる人の理解と地域ケア 5. 訪問看護ステーションの特徴 6. 訪問看護の対象の理解 7. 訪問看護の特徴 				
始講時期 2年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 在宅看護論 実習要項				
教員の实務経験 総合病院での臨床経験と訪問看護ステーションでの経験を活かし、療養者および家族のニーズに応えた在宅看護の基礎と地域で生活を継続できるように支援するためのマネジメント機能や関連職種との連携について授業する				

看護の統合と実践実習 2単位 (90H)

【実務経験のある教員】

看護の統合と実践実習	授業形式	時間数	日数	担当者
	実習	90	12	専任教員
学習目標 チームの一員として、看護業務にかかわるなかで看護専門職としての役割を理解し、自覚と責任を養う。				
学習内容 1. 看護チームの看護師の動きを共にし、援助の優先順位の判断や時間管理の必要性を理解する。 2. 複数の患者を受け持ち、看護が実践できる。 3. 看護部の役割、病棟師長の役割を理解し、病棟管理の実際や他部門との調整などの見学をとおして連続、継続して行われる看護管理の実際を学ぶ。 4. 将来の看護師としての自己の課題を明確にする。				
始講時期 2年次		評価方法 実習要項 参照		
テキスト及び参考書 看護の統合と実践 実習要項				
教員の実務経験 豊富な臨床経験を活かし、複数の患者を受け持つ看護実践を通して、チームの一員として看護業務にかかわるなかでの看護専門職としての役割について授業する				